

PDCAサイクルの評価軸:

①PLAN

計画や目標は、自分で考え、より高い目標を立てることができる。チャレンジできる。

②DO

具体的に実行に移すにあたり、予想、予想外の壁などに対処できる。また、どのように対処したのか経緯を具体的に分かりやすく説明できる。人の支援についても語るることができる。

③CHECK

計画がスムーズに進まない時などに、軌道修正を行うことができる。また計画の振り返りをした時に、経験を未来の糧にすることができる。自分の言動を俯瞰して確認することができる。

④ACTION

軌道修正などをした時に、改善をすることができる。また終了した後に、改善策を考え、次のテーマを設定して計画を立案し実行できる。

社会では、次の新しい仕事や場面に備えるために現状を分析し、改善策を考え、行動するサイクルを日々、行っています。

※PDCAは、個人＝自己成長、組織＝会社の発展だけではありません。
広く社会に役立つため＝自分のできることを見つける＝一歩でも成長する＝昨日、今日、明日と少しでも前に進むように努力することが社会に貢献することになります。